

那須野が原博物館建設事業

受賞機関 栃木県西那須野町

はじめに

那須野が原博物館は、那須野が原の開拓をメインに歴史・民族・考古・美術・自然分野を対象とする総合的な博物館である。地域の文化遺産を後世に伝え、那須野が原の文化の集積と情報の発信を行う地域住民とともに歩む博物館を目指す。

施設概要

- ・所在地：栃木県那須郡西那須野町三島5-1
- ・構造規模：RC造（一部S造）平屋建
 - 建築面積 1,996.97㎡
 - 延床面積 2,038.68㎡
 - 最高高さ 12.84m
- ・工事期間：平成13年12月～平成15年12月
(建物竣工：平成14年10月)

施設特徴

本博物館は、旧三島農場事務所跡に位置し、西那須野町郷土資料館を前身とする博物館である。300㎡の常設展示室と200㎡の企画展示室を備えた博物館機能と、生涯学習や学校見学等の研修・体験のための会議室や体験学習室等といった情報・学習施設機能も併せ持つ、地域密着型の博物館となっている。

環境への配慮

建物面積の約半分を占める大屋根には、二重屋根による空気層の循環システムを採用し、断熱性能を高め、低ランニングコストとすることで環境に与え

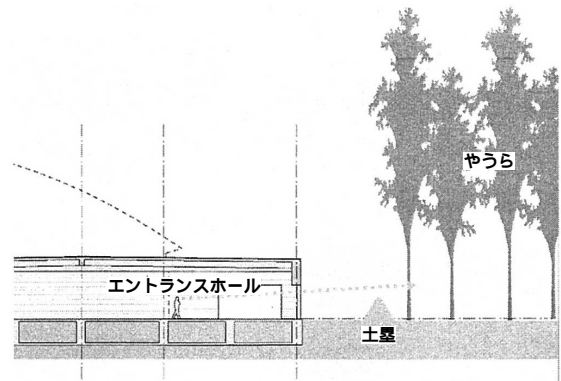


外観

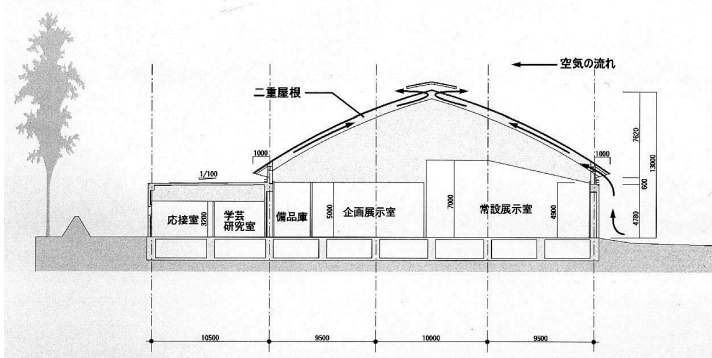
る影響を軽減させている。

景観の保全・活用

開拓時代からの土地の記憶である、やうら（防風林）や土塁（防風壁）を保全し、屋外展示物として位置づけ、地域景観を活用した博物館としている。また、後方にそびえる那須連山と呼応した大屋根を建物のシルエットに取り入れることにより、景観に配慮した外観となっている。



エントランスホールからやうら・土塁を観る



断面図



やうら

賛助会員 西松建設株式会社